

みなと 物語



港区誕生

～もうすぐ83歳～

私達の郷土港区は、大正14年(1925年)4月1日に誕生しました。大阪市の第2次市域拡張によって生まれた新区のひとつで、人口は267,919人で大阪市13区中第1位、面積は第4位でした。大阪港の繁栄や市電の開通などによって大きく発展していた港区には、市岡パラダイスや築港大潮湯、遊園地などのレジャー施設が次々とオープンし注目を集めました。また、夕風橋筋や九条新道などの繁華街、港新地・ハ幡屋新道・市岡新道で商店街がにぎわうなど、まちは活気にあふれていました。



大正14年 港区役所関所(南境川町2丁目44番地)

人口の増加と行政区域があまりに広範囲であったため、昭和7年(1932年)に三軒家・泉尾の地域を大正区として分区。それでも、昭和10年(1935年)には人口317,721人を数え、依然として大阪市中で最も多い人口を誇っていました。昭和12年(1937年)に港区の庁舎を現在の場所に移転。昭和18年(1943年)には境川より東の地域を西区に分割しました。そ



の結果、北は安治川を隔てて此花区、東は境川運河をもって西区、南は尻無川によって大正区に接し西は大阪湾に面するまさに川と海に囲まれた現在の港区が誕生しました。